

藤沢市立学校における 働き方改革 基本方針・実施計画

〈ポイント資料：概要版〉

藤沢市教育委員会

2026年(令和8年)3月

持続可能で質の高い教育を実現するために

教員の長時間勤務は、教育の質の低下につながる喫緊の課題です

◆厳しい勤務実態

<時間外在校等時間の状況>

校種	年平均	月45時間を上回る割合	月80時間を上回る割合
小学校	月18.3時間	7.6%	0.5%
中学校	月29.6時間	25.5%	3.6%
白浜養護学校	月12.1時間	0.5%	0.0%

中学校教員の約**25.5%**が月45時間超の時間外勤務
(令和7年度推計)

※「児童生徒と向き合う時間がある」と感じる教員は
半数以下

◆目指すべき姿

○私たちが目指すのは、教員が**心身ともに健康**で、

情熱をもって授業や指導に専念できる学校です



✂ 働き方改革は、教員が心身ともに充実し、学ぶ時間を確保することなどにより、自己の資質・能力を高められるようにし、子どもたちへの「よりよい教育」を実現するための取組です

(注) 本資料内のイラストは、AIによって生成されたイメージです。

業務を4つに仕分け、専門性を活かせる環境へ

ア【学校以外が担うべき業務】

- ・登下校の見守り
- ・放課後から夜間などの郊外の見回り
- ・学校徴収金の徴収・管理

など

イ【教師以外が積極的に参画すべき業務】

- ・調査・統計等への回答
 - ・学校の広報資料・ウェブサイトの作成・管理
 - ・学校プールや体育館等の施設・設備の管理
 - ・校内清掃
- など

ウ【教師の業務だが負担軽減を促進すべき業務】

- ・授業準備
- ・学習評価や成績処理
- ・支援が必要な児童生徒・家庭への対応

など

エ【「学校と教師の業務の3分類」のうち、複数分類に該当する業務】

- ・地域行事等への参加



学校の「当たり前」をアップデートします



チーム学校

すべての教職員、支援スタッフ等と協働し、チーム学校を推進



校務DXの推進

ICT基盤を整備し、スムーズで安定的なネットワークの提供



電話対応

勤務時間外の電話には、「自動音声ガイダンス」を継続するほか、録音機を導入



施設管理

学校プールの集約化・外部施設の活用、体育館開放の制度整備

✂ 教員が本来担うべき「学習指導」や「生徒支援」に注力できる体制をつくります

学校・家庭・地域、そして行政が一丸となって

学校・教員

業務の精選・見直しや、学校運営全体の中での取組を進めます。



保護者の皆さまへ

新しい連絡手段（ICT）の活用や、学校への電話連絡時間のご理解、子どもたちの健やかな成長を共に支えるパートナーとしてのご協力をお願いします。

教育委員会・市長部局

自治体全体で取り組むとともに、教員を支える仕組みを市全体に広げるため、教育委員会から市長部局（他部署）へ働きかけ、連携を進めます。

地域の皆さまへ

見守りや学習支援など、地域学校協働活動への温かいご協力をお願いします。

未来の子どもたちのために、教育に関わる全ての関係者が連携・協働して働き方改革に取り組みます

持続可能な教育環境の実現

時間外在校等時間
〈月45時間超の教員〉

0%

(令和11年度までの達成目標)

教員のウェルビーイングの向上
「仕事にやりがいがある」と感じる教員

80%以上

(令和11年度までの達成目標)

令和8年度
計画開始



令和11年度
目標達成

✂️ よりよい教育を実現できるよう、
実効性のある「働き方改革」を推進していきます

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

計画の詳細は藤沢市ホームページをご覧ください